



高田中学校だより

できる できる できる

【校訓】

自主・協力・創造

文責 校長 今井正志

「動画配信による学校祭！ いかがだったでしょうか？」

今年度は、コロナ禍の中での開催ということで、午前中の参観者を3年生と吹奏楽部の保護者の方に絞って開催しました。本来ならば、1・2年生の保護者の皆さまにもご来校いただき開催したかったのですが、叶わず残念に思います。しかし、動画の配信ができましたので、多くの方に視聴いただけたのではないかと考えています。少し画像が乱れることはありましたが、子どもたちの頑張る姿をご覧いただけて良かったです。



今年度の学校祭は、「互いに協力し合う、自主的に活動する」ことを主な目的として学習を積み重ね、その成果を発信することに取り組みました。

午前中に行われた「合唱コンクール」については、伴奏者は夏休みから練習を重ね、2学期に入ってから本格的に学級全体で練習に励んできました。朝・昼休み・放課後の時間を使って練習しましたが、最初に歌声が聞こえてきたのは、さすが3年生でした。その3年生の歌声に刺激されて、1・2年生の歌声も徐々に聞こえてくるようになりました。朝の練習のお陰で、登校時間も早くなり、遅刻する生徒もほとんどいなくなりました。

本番の合唱はどの学年も精一杯の歌声ですばらしいものでしたが、やはり3年生の合唱はさすがでした。優秀賞は2組でしたが、1組が優秀賞でもおかしくない均衡したすばらしい歌声でした。1・2年生にとっては、来年度以降の目標となる合唱であり、憧れの存在としてふさわしい合唱を聞かせてくれました。ありがとうございました。

その前に、1・2学年の「総合的な学習の時間」で取り組んできたことの成果を発表しました。どちらの学年も株式会社「高献」の取組の発表で、どんな学習をして、何を学んだかを工夫を凝らしてしっかり発表できました。寸劇やパワーポイントを使った発表で最後まで飽きさせない演出でとても楽しく見せていただきました。

展示発表が多目的ホールでありましたが、どの作品も文化の秋にふさわしい作品ばかりでした。



午後からは、運動場で3年生が「龍踊り」を披露しました。時間も長く、体力がもつか心配でしたが、「宮本君のもってこーいや会場の皆さまからの拍手」にも応えることができました。「双龍の舞」など、見に来られた方も感動されたのではないかと自負しています。

今回の取組を通して得られた「協力し合う気持ち」や「自主性」等を今後の学校生活や家庭・地域での生活に生かしてほしいと思います。

その後、武道場で、株式会社「高献」の株主さんへの配当と、体育館前のピロティで梅干しや紫蘇ふりかけ、対馬の大船越中学校が作った藻塩の販売を行い、多くの保護者や地域の方にご購入いただき、お陰様で完売しました。ご協力ありがとうございました。



総合的な学習の時間に取り組んでいる、この株式会社「高献」の活動を今後も継続して取り組み、社会に出て役立つチャレンジ精神や創造性、判断力、実行力等を育てていきたいと思いますので、今後とも、ご理解、ご協力をお願いいたします。

来年度は、例年通り、いやそれ以上の学校祭が開催できることを願いたいと思います。